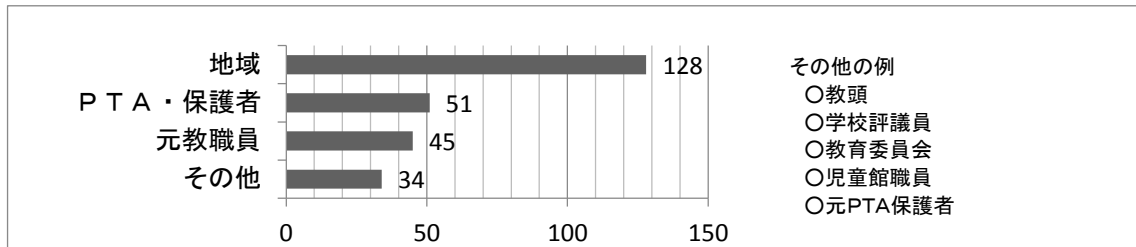


【地域コーディネーター】

★奈良県学校・地域パートナーシップ事業(以下パートナーシップ事業という)の各実施箇所における活動の実施状況について

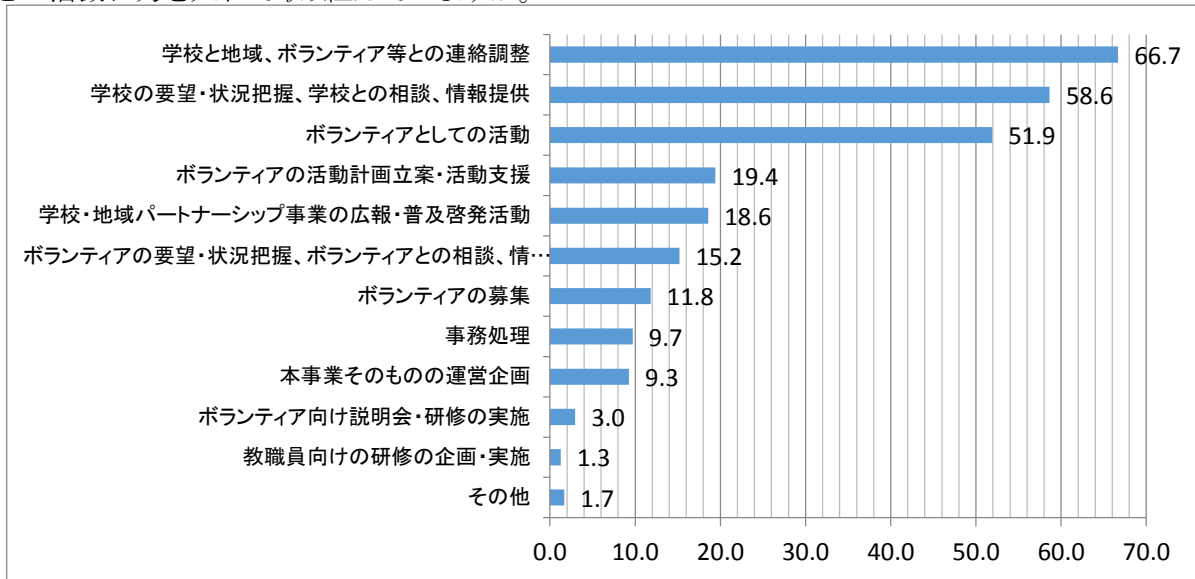
(1)所属



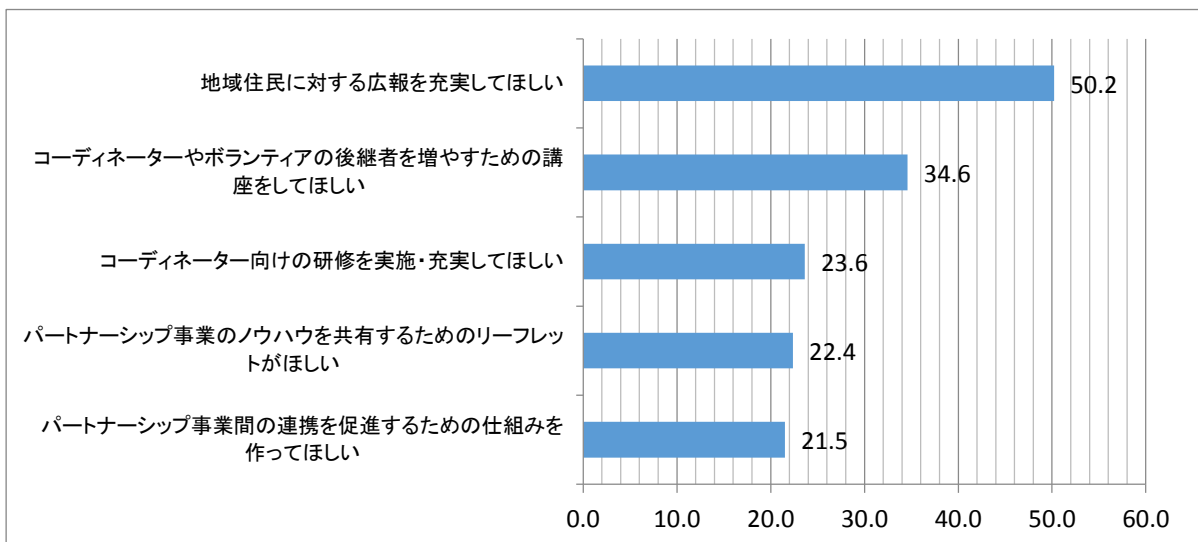
- (2)学校支援ボランティアの人数。登録者が不明の場合、活動実績数の平均。 55.3名
 (3)地域コーディネーターの平均経験年数。 2.9年
 (4)地域コーディネーターの1か月の平均活動時間。 9.4時間
 (5)地域コーディネーターの1か月の平均学校訪問回数。 4.1回

★地域コーディネーターの取組について

(1)どの活動に力を入れて取り組んでいますか。



(2)支援してほしいことは何ですか。(特にあてはまる番号3つまで選択可)

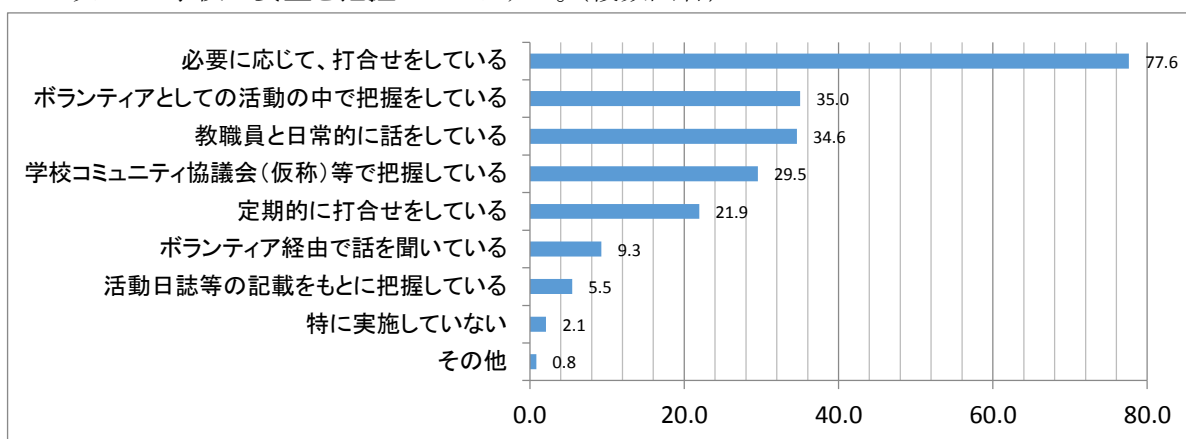


(3)苦勞した点、工夫した点は何ですか。(自由記述)

- ボランティアの発掘が難しい
- ボランティアの謝金に差がある
- 実態把握と課題克服への活動、協力体制づくり
- ボランティアと子どもたちの距離感
- 学校への関わり方をどのようにすればいいか。
- 学習ボランティアに参加していますが、短期間、短時間で効果を上げるのはなかなか難しい
- みんなと合わせられない子どもがいた時の対処
- コーディネーターとしての動きがわからず、実働できていません。
- 学校に関わっているボランティア、PTA、地域団体のリーダーとの連携が必要。町の他の校区のコーディネーターとの連携(活動状況、共同してできる事、懇談、懇親)
- ボランティアの募集の仕方
- 教職員の意識向上と理解
- 活動計画について

★パートナーシップ事業推進上の要望把握について

(1)どのようにして学校の要望を把握していますか。(複数回答)



(2)どのようにしてボランティアの要望を把握していますか(複数回答)

